

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 櫻井 雅美

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 8 第 3 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 被災時における届出避難所制度の導入と民間事業所の BCP 連動について	【趣旨説明】 大規模災害時において、大規模な指定避難所は環境の変化等から、妊婦や乳幼児、障がい児・者、要配慮者を抱えるご家庭にとって避難のハードルが高く、自宅や車中避難に追い込まれてしまう課題があります。発災直後から福祉の視点を持った避難環境を整えることは、環境変化による体調悪化やパニックといった「二次障害」を防ぐ上でも極めて重要です。 こうした課題に対し、岡崎市などでは自主避難所を事前に登録する「届出避難所制度」を導入し、備蓄品などの支援を行うことで地域や民間の自主的な避難体制を後押ししています。 本町におきましても、日頃から対象者が通い慣れている民間保育園、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型事業所などを「届出避難所（任意の小規模避難所）」として位置付け、事業所の BCP（業務継続計画）と連動させることで、復興を見据えた民間避難所の推進と福祉支援の継続を図るべきと考え、見解を伺います。 【質問事項】 ① 大規模避難所への避難が困難な妊婦や乳幼児や障がい児・者家庭における課題認識と、環境変化に伴う二次障害を防ぐ避難体制について現状はいかがですか。 ② 民間保育園、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型事業所などを対象とした「届出避難所制度（任意の小規模避難所）」の導入について、本町の考えをお聞かせください。 ③ 届出避難所の開設・運営を支援するための備蓄品や資機材に対する補助制度を導入する考えはありますか。 ④ 民間福祉事業所の BCP 見直しを支援し、町の地域防災計画と連動させた「復興を見据えた民間避難所の推進」について、本町の方針をお聞かせください。

2. すべてのこどもの学びの保障と個別最適化の推進について	【趣旨説明】 次期学習指導要領の改訂を見据え、一人ひとりの特性に応じた「個別最適な学び」の実現が求められる中、現状の取り組みは行政主導・学校主導に偏りがちであり、子どもや保護者の視点に立ったきめ細やかな習熟度の把握や環境整備が課題となっています。 不登校児童生徒が増加する中、学校復帰のみを前提としない多様な学びや居場所の確保が不可欠です。先日、文教厚生委員会で行政視察に訪れた奈良県天理市では、「孤立や生きづらさを生み出さないまちづくり」という首長の明確な理念の下、単なる施設の貸与ではなく、社会教育活動を行う信頼できる地域の大人に学校をひらく「学校三部制」を導入し、教員だけに抱え込ませない見守り体制と居場所づくりを実現されていました。 本町におきましても、行政主導の枠組みを超え、信頼できる地域や民間団体と連携し学校の可能性を拓くとともに、民間フリースクール等の利用者に対する「利用補助金制度」の導入など、すべてのこどもの多様な学びと安心できる居場所を保障すべきと考え、見解を伺います。 【質問事項】 ① 子ども一人ひとりの習熟度の把握方法と「個別最適な学び」における本町の現状と課題認識はいかがですか。 ② 不登校児童生徒の経済的負担を軽減し、多様な学びの選択肢を保障するため、民間フリースクール等の利用者に対する「利用手当・補助金制度」を導入する考えはありますか。 ③ 「学校三部制」のように、単なる施設の開放ではなく「信頼できる地域の大人」に学校をひらき、子どもたちをあたたく受け入れる環境づくりについて、町長のお考えをお聞かせください。 ④ まちづくり全体の理念の元に教育を捉え直し、地域や民間と連携して「すべてのこどもの多様な学びと居場所を保障する推進方針」について、町の方針をお聞かせください。
--------------------------------------	---